

エネルギーストリーム補足知識PDF

今日もお疲れ様でした。

それではエネルギーストリームについて本編ではお伝えしきれなかった点を中心に、テキストでご説明させていただきますね。

■対人のエネルギーストリームについて

エネルギーストリームを対人に行う場合には「エネルギーを与えるか吸収するか」の選択と「相手のエネルギーが良いエネルギーか悪いエネルギーか」を理解して選択を行う必要性があります。

悪いエネルギーを取り入れても不健康になりますし、良いエネルギーを悪い相手に与えても豚に真珠になってしまいますからね。

そのあたりは注意して行なう必要はありますね。

■エネルギーのつむじ風

エネルギー風を生み出す時の基本訓練として、つむじ風のようなものを作り出したり、直線的な風を生み出すのも良いですね。

これは自分の周りにエネルギー風を巻き起こして、つむじ風を作り出したり。

そのままどちらか一方の手を前に突き出して、そこからエネルギーの風が前方へと流れるようにイメージをするのも良いですね。

この時に、あなたを取り巻く風の回転方向に合わせた手を出すと、やりやすいかもしれません。つまり…あなたを取り巻く風の回転方向が、左腕、背中、右腕、胸と…あなたを上から見た時に「反時計回り」に風の流れがある場合には、その流れに合わせて右手を前につきだした方が自然ですし。

風の流れが時計回りでしたら、左手を前に出したほうが自然と言うわけですね。

突き出した手からエネルギー風を前方へと放出したりなど、常に流れを意識してエネルギー風を操るとより使いやすくなるでしょう。

■オーラコントロール

今回の内容ですが、オーラのコントロールが重要ポイントになりますので、基礎力を上げたい場合には、そこを重点的に稽古すると良いかもしれません。

この稽古につきましては輝鳴紅葉（てるなりこうよう）ちゃんという子が提唱している「スピリチュアルファクター」という作品シリーズの1巻と2巻が適任です。

- ・輝鳴紅葉のスピリチュアルファクター 魔法使い入門 番外編#01
サイコフィールド(スピリチュアルファクター運用における知覚の範囲)
http://www.dlsite.com/home/work=/product_id/RJ146418.html

- ・輝鳴紅葉のスピリチュアルファクター 魔法使い入門 番外編#02
エナジースキン(外的要因から心身を保護する第二の皮膚)
http://www.dlsite.com/home/work=/product_id/RJ149561.html

この2作品はオーラ系をコントロールするには特に優れていますね。

特に1巻の「サイコフィールド」はオーラ全般の鍛錬が出来ますので、今回のエネルギーストリー
ムとかなり相性が良いと言えます。

加えてこちらの作品をリリースしているサークルは、まほー工房の姉妹サークルでもありますので
稽古内容においても学ぶべき点が多いですし、魔法にそのまま流用できる技術も多いですので興
味がありましたらチェックすることをおすすめいたしますわ。

■エネルギーを描くコツ

エネルギーを描くコツは、空間に対して軌跡を鮮明にイメージして描くことが重要です。
具体的な補助イメージとしては、空間に用水路を作っていくようなイメージや、川の流れのような
イメージ、風の通り道やパソコンのプリント基板のイメージなども有効ですね。
これは遊びながら何度も軌跡を描いたり、複雑な軌跡を描くことで練度を上げていくと良いでしょ
う。

■離れた場所に穴を穿つ・複数の場所に穴を穿つ

エネルギーは手の届く範囲にしか力を行使できないわけではありません。
この技法の基点や終着点は手の届く範囲だけではなく、イメージを使えばはるか遠くの場所にも
穴を穿てますし、見えない場所にも穿つ事ができます。
また、複数のポイントを認識してそれらの場所に一気に穴を穿つ事も可能ですから、うまく応用
してみてくださいね。

■穴を穿つ

この技法は「空間に穴をあける」という行為の稽古も兼ねていますから、これを学んでいけばいずれは異界への干渉や別世界へ力行使する技にも役立つでしょう。

■レトリーバル

過去や未来に対してレトリーバルをしたい場合には、一般的には「時間の概念」が邪魔をすると考えがちですが、実はこれはあまり関係ありません。

実際の行使においては過去や現在、未来の時間軸は無視して「その時間軸の事象」と「その時間軸の事象」をシンプルにエネルギー・ロードで繋ぐ…とイメージするだけで大丈夫です。

※これも時空の秘密に繋がる内容ですから、何度も稽古しておいて損はない内容ですね。

■力のクオリティ

エネルギー・ストリームは力のクオリティも操れますから便利です。

今回の内容は簡潔に言うと、エネルギーの流れを制御するだけではなく「物事に筋道を作る」という意味合いも大きいです。

この概念の応用範囲はとても広く、本編でお話しした「エネルギーを流す」「エネルギー・スポットを作り出す」「負のエネルギー・ストリームを別の場所に移動させる」という使い方だけでなく他の用途にも使用できます。

例えばそうですね…。

この魔法に習熟していくと、何となく物事の流れが自然と読めるようになります、空間のエネルギーだけではなく意思などの、より精神的な事象への働きかけも可能になっていきますわ。

いわゆる「呼び水」のような感じですね。

例えば製品の売り出しやイベントなどは最初の呼び込みで勢いをつけると、その後の流れも有利なことが多いですからね。

エネルギー・ストリームはこうしたケースにもお役に立てるはずですわ。

せっかくですからやり方も少しだけお伝えしておきますね。

こうした運や流れなどを扱うときは、まずは心の中に対象を思い描きます。

例えばあなたがアーティストなら、心の中に自分の作品を思い描きましょう。

次に多くのファンや、これからファンになるであろう人たちを沢山心の中に思い描いて…。

あなたの作品と多くの人達をエネルギー・ストリームで繋いでいきます。

エネルギーの方向性についてですが、これは、あなたの作品が多くの人々に影響を与えたければ、作品から人へと…「輝き」や「魅力」というクオリティが多くの人々に伝わるように力のベクトルを「作品から→人々」へと向けるといいでしょう。

あなたの作品が多くの人々に求められる展開を望むなら、人々の気持ちが作品へと向くように…「人から→あなたの作品」へと力のベクトルを向けて、そのクオリティを「注目」などにすると良いかもしれませんね。

■エナジーバンパイアのエネルギーストリーム

エネルギー技術に長けてくると、他者が扱うエネルギー技術に対しても鋭くなります。

エナジーバンパイアの類は、この技術を大きく劣化させたような技術を使ってきますからエネルギー線を不本意な形で接続されたと感じた場合には、逆に力を吸い上げたり、線を打ち消したり（もちろん、ブレードでエネルギー線を切り裂くというのも良い手ですね）することで被害を防ぐことも出来ます…と本編でもお話ししましたが、これはエネルギーを扱えるようになると、より細やかかつ有利に展開することが出来ます。

今回の魔法習得により、あなた自身がエネルギーの流れを生み出したりコントロール出来るようになりましたから、そうした手刀で切ればそれ自体が力になりますし、指先で誘導すればネムリちゃんの「思念のタクト」のように力のコントロールも出来ます。

つまりエネルギーの導き方がわかった今、あなたの指先の動きそれ自体が一種の力の誘導になってしまっている…というわけですね。

このエネルギーストリームを学んだ後では、指先を使う「印や図形の魔法」がより効果的に機能しますから、いずれ近いうちにこうした魔法もお伝え出来たらと思っていますわ。